生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	難治性緑内障に対するアーメド緑内障バルブを用いた新たな手術方法		
1. 研究の目的と方法	視覚障害の原因疾患の 1 位である緑内障の進行には、眼圧が関与していることが知られていますが、降圧点眼治療を行っても進行を止められない難治性の症例が存在します。アーメド緑内障バルブ手術は、難治性の緑内障患者に対し、房水を眼内から排出し眼圧を下げるために行う手術です。しかし、術後に房水の流出路が閉塞してしまい、十分な眼圧下降効果が得られないことがあります。そこで、本研究ではアーメド緑内障バルブを裏返して装着し、より広い房水流出路を確保することで確実な眼圧下降効果を得ることを目的としています。本研究では、難治性緑内障に対して、アーメド緑内障バルブを表裏逆に装着した症例の術後成績の評価を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	チン小帯脆弱を合併した白内障の患者さんで、2017 年 8 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に葛飾医療センターおよび附属病院にてアーメド緑内障バルブ挿入手術をを受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、検査結果（視力検査、眼圧検査、視野検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　眼科学講座
		氏名	増田洋一郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　眼科学講座　増田洋一郎 (1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2019 年 4 月～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　眼科学講座 研究責任者：講師　増田　洋一郎（ますだ　よういちろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3581） 対応時間：平日 09：00　～　17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。